

# ③クロス分析データ

保険者協議会委員となっている保険者が保有するデータを使用し、令和3年度のメタボリックシンドローム該当者について、翌年度の腹囲・脂質・血圧の改善・悪化に応じた生活習慣の状況を把握しました。

令和3年度・令和4年度両方の特定健診データがあった被保険者数 : 1,226,687人

| 令和3年度   |           | 令和4年度   |        |                 |                 |              |              |              |              |
|---|-----------|---|--------|-----------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 区分  |           | 服薬  | 人数     | 1日1時間以上運動していない人 | 週3回以上就寝前に夕食を摂る人 | 週3回以上朝食抜く人   | 毎日飲酒する人      | 一日の飲酒量が多い人   |              |
| <b>メタボ該当者<br/>(脂質・血圧のみメタボ基準値以上)<br/>※服薬なし</b><br><br><b>90,300人</b> | <b>改善</b> | 腹囲：メタボ基準値以下<br>脂質：メタボ基準値以下<br>血圧：メタボ基準値以下                   | あり     | 118人            | <b>53.9%</b>    | <b>25.8%</b> | 20.5%        | <b>26.6%</b> | <b>24.3%</b> |
|   |           | なし  | 1,144人 | <b>52.8%</b>    | <b>36.9%</b>    | 33.6%        | <b>30.7%</b> | <b>28.1%</b> |              |
|   | <b>悪化</b> | 腹囲：メタボ基準値以上だが、令和3年度より1cm以上減少<br>脂質：メタボ基準値以下<br>血圧：メタボ基準値以下  | あり     | 341人            | <b>57.0%</b>    | <b>40.7%</b> | 24.6%        | <b>26.2%</b> | <b>24.2%</b> |
|   |           |   | なし     | 2,304人          | <b>55.0%</b>    | <b>39.7%</b> | 34.8%        | <b>25.6%</b> | <b>25.2%</b> |
|   |           | 腹囲：メタボ基準値以上で、令和3年度より1cm以上増加<br>脂質：受診勧奨判定値超え<br>血圧：受診勧奨判定値超え | あり     | 17人             | <b>73.0%</b>    | <b>41.6%</b> | 32.6%        | <b>38.2%</b> | <b>34.1%</b> |
|   |           |   | なし     | 224人            | <b>61.8%</b>    | <b>45.5%</b> | 35.0%        | <b>40.2%</b> | <b>38.0%</b> |

●令和3年度のメタボリックシンドローム該当者（脂質・血圧のみメタボ基準値以上、服薬なし）について、令和4年度の生活習慣の状況を改善者・悪化者と比較すると、**腹囲・脂質・血圧がメタボ基準値以下に改善した群（服薬なし）**では、**腹囲がメタボ基準値以上で令和3年度より1cm以上増加かつ脂質・血圧が受診勧奨判定値超に悪化した群**に比べて、**1日1時間以上運動なしの割合は9%低く、週3回以上就寝前に夕食を摂る人は9%、毎日飲酒する人は10%、1日当たり飲酒量が男性2合、女性1合以上の人**は**10%低く**なっていました。なお、**服薬あり**では、それぞれ**19%、16%、12%、10%低く**なっており、**服薬なしに比較して一層差が大きい**ことが示されました。

●また、**腹囲がメタボ基準値以上だが令和3年度より1cm以上減少かつ脂質・血圧がメタボ基準値以下に改善した群**では、**服薬なし**はそれぞれ**7%、6%、15%、13%低く**、**服薬あり**では**16%、1%、12%、10%低く**なっていました。

●つまり、**比較的改善度が低い群では改善度が高い群に比べて、服薬の有無に関わらず運動していない、就寝前に夕食を摂る割合の高い**ことが示されました。